

会 議 録 (1)

会議の名称	平成29年度 第1回飯能市郷土館協議会
開催日時	平成29年5月30日 午後2時00分から午後3時30分
開催場所	飯能市郷土館 学習研修室
議長氏名	加藤栄子
出席委員	伊藤誠 井上淳治 小槻成克 加藤栄子 栗原慶子 杉田和美 野村正弘 馬場憲一 平良宣子
欠席委員	岡野民嗣
説明者の職員	なし
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	館長 尾崎泰弘 主査 村上達哉 主査 引間隆文 主事 宮島花陽乃

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

協議事項

- (1) 平成28年度事業結果報告について
 - ・会議資料 (資料1) に基づいて説明した。
- (2) 平成29年度主な事業予定について
 - ・会議資料 (資料2) に基づいて説明した。
- (3) その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午後 2 時 00 分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>ただいまより、平成 29 年度第 1 回郷土館協議会を開会いたします。本日は、岡野委員よりご欠席の連絡をいただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>最初に会長からのご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>みなさまこんにちは。お忙しい中、また暑い中お集まりいただきありがとうございます。五月とはいえ半袖の方が良いほどの気候ですが、今年度第一回の協議会、暑さに負けずみなさまと共に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします申し上げます。</p>
主査	<p>次に、生涯学習・スポーツ部長よりご挨拶申し上げます。</p>
部長	<p>皆さまこんにちは。生涯学習・スポーツ部長の益子です。</p> <p>郷土館が開館から 28 年間無事に続いているのも、皆さまのお力によるものと思っております。郷土館の館報を見ても、郷土館が職員だけではなく、たくさんのお力により持続していることを実感しています。今年は常設展示室の改装もありますので、皆様のお力添えをいただきながら、職員一同よりいっそう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
	<p>2 自己紹介</p> <p>※協議会委員、職員、非常勤職員の順に自己紹介を行った。</p>
主査	<p>3 協議事項</p> <p>では、協議事項にうつります。</p>
議長	<p>それでは、平成 28 年度の事業結果について、事務局から報告をお願いします。</p>
館長	<p>(1) 平成 28 年度事業結果報告について</p> <p>私の方から、事業報告の概要について、ご報告をさせていただきます。資料 1 をご覧ください。</p> <p>(資料 1 に基づいて説明、以下主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絹の里のうちおり～飯能で収集された自家製織物～」における一日平均入館者数は、収蔵品展のものとしては 10 年間で 2 番目に高い数値。清瀬市におけるうちおりの国指定重要文化財指定や着物の女性人気はその要因と考えられる。 ・講師派遣について前年度と比べると、件数は 1 件減っているものの受講人数は

	<p>増えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究紀要は従来よりもページ数が増え、内容も充実したものとなっている。 ・館報は活動報告書から実績報告書へ、ということコンセプトにした。利用者の生の声を掲載することや、見せ方を変えることを意識している。また、平成27年度に教育委員会へ提出された「飯能市郷土館の整備拡充に係る要望書」も掲載している。 ・昨年度に引き続き、今年も入館者数3万人を超えることができた。入館者数が3万人を超えるのは、昨年度を除くと平成8年以来。
議長	<p>みなさま、今のご報告を伺ったなかでご意見・ご質問などありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>研究紀要について質問です。研究紀要は、博物館の研究活動を示すものとしてとても重要だと思っています。しかし、なぜ刊行が二年に一度なのか。</p>
館長	<p>研究紀要は、収蔵資料目録と隔年になっております。予算の関係もあり、このような形になっています。</p>
委員	<p>予算の関係もあるとのことなので難しいかもしれませんが、もしも可能ならば、できれば毎年出していただければと思います。研究紀要は日々の仕事と研究の両立の成果ですから、毎年あった方が良いでしょう。</p>
議長	<p>他に何かある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>入館者数についてですが、こちらは事業の数などと比例していると考えてよろしいのでしょうか。</p>
館長	<p>そうですね。あとは、特別展の入館者数が多いときは、年間入館者数も多い傾向にあります。</p>
委員	<p>そうすると、来館者の関心度の高いテーマを選んでいく、というのも大変重要になりますね。</p>
議長	<p>研究紀要についても一つ良いのでしょうか。刊行部数は700ということですが、どのようなところに配っているのですか。また、こちらは有料で販売もしているのでしょうか。</p>
館長	<p>館報、紀要ともにおよそ350冊が関係機関への贈呈になっています。関係機関は県内博物館や研究機関、県外の博物館、関係自治体に配っています。残りが販売で、館報が600円、紀要が400円になっています。</p>

委員	購入されるのは市民の方が多いのですか。
館長	はっきりとしたデータが出ているわけでは無いのですが、毎回買ってください市民の方はいらっしゃいます。
委員	これらの刊行物について、PDF データでの納品やウェブ上での公開はしていないのですか。今このような形で公開をしている館も多いと思いますが。
館長	PDF データの納入はしてもらっていますが、紙媒体で購入する人との平等化を図るために、ウェブ上での公開はしていません。
委員	他館では、代金は情報料ではなく紙媒体を手に入れるための費用という考えでやっています。この考え方からすると、紙で買う人とウェブで閲覧する人が不平等、というのは当てはまりません。このあたりのこともお含みいただき、今後冊子の刊行に加えてウェブ上での公開などもご検討いただきたいです。
館長	わかりました。
委員	他自治体への講師派遣については、どのような物があるのですか。
館長	葛飾区郷土と天文の博物館については、同館が毎年行っている災害史関係のバスツアーの一環になります。
主査	山梨文化学院については、元々高麗郡建郡の資料調査がきっかけで開催が決まりました。高麗人と山梨との関係から、ツアーを組んでみよう、ということになりました。私と生涯学習課文化財担当の職員で案内をしました。
委員	山梨文化学院、というのは高校なのですか。
主査	これは成人向けの講座のようなものなのですが、先生は駿台甲府高等学校の先生です。
委員	では参加者はシニアが多かったということでしょうか？
主査	その通りです。
委員	入館者数についてですが、リピーターが多いのでしょうか。
館長	リピーターが多いのは確かです。特別展などは、約半数がリピーターになって

委員	<p>います。館報に掲載しているアンケート結果では、初めて来館したという方は40パーセント強となっています。しかしこの数字は、対象となった展示が平成27年度のものでテーマが鉄道だったということもあり、例年よりも初めての人の割合が高くなっています。他の展示ではもっとリピーターが多いです。</p> <p>博物館は生活の必需品という訳ではないこともあり、名栗からだとはやはり遠さがネックになり中々人が行かないです。郷土館では色々と活動しているのにもったいないな、と思っています。</p> <p>リピーターが多いのは良いことですが、新規の入館者を増やす、ということも必要だと思います。</p>
委員	<p>リピーターということだと、織物などで女性をリピーターに繋げていくのも重要な、と思います。</p>
委員	<p>スプリングスクールとは、毎年行っているものなのですか。それとも何かの企画の1つなののでしょうか。また、どのようなことをしたのでしょうか。</p>
館長	<p>こちらは当館主催の事業ではありません。内容は、当館にきていただき、収蔵庫を見ていただいた、というものになります。</p>
委員	<p>収蔵庫を見られるのは子どもたちにとって良いことですよね。</p>
委員	<p>入館者の年齢層はいかがですか。</p>
館長	<p>60代以上と小学生までが多いです。20代～40代の比率がとても低く、それぞれの世代で全体の入館者の10パーセントに満たない比率となっています。</p>
委員	<p>出張授業の一覧を見ると、行き先が固定してきているな、と感じます。従来のつながりを深めることも大事ですが、もっと新しい行先も開拓していく必要があると思います。</p> <p>また、現在出張授業の主な利用目的となっている総合学習ですが、指導要領の改訂に伴い、この時間を学校がどのように使っていくのかが変わってくることが予想されます。総合の時間を外国語授業などに使うこともできるようになるかもしれないので、そうなるとう郷土館が利用されなくなるのではないかという危機感を持っています。この傾向は早ければ来年あたりから見られると思います。</p> <p>総合学習に加えて社会科への位置付けや、他の教科への位置付けをきちんと考えて、対策を練っていかなければならないと思いました。</p>
議長	<p>学校の授業と博物館の活動と、何とかコンタクトを取りながら頑張ってもらいたいですね。</p>

	<p>他になにかある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>小学3年生の社会科見学は、昨年度は無かったのでしょうか。</p>
館長	<p>昨年度も実施しています。資料1に掲載していますが、今年は581人の児童が来館しました。来館児童数は年々人数が減っているのですが、これは、来ている学校の数が減っているわけでは無く少子化の影響で児童数自体が減っている、ということになります。</p>
委員	<p>重点施策の評価についてですが、郷土館は他課に比べて自己評価が低いような気がします。もっと高い点をつけても良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>一つ良いのでしょうか。館報に重要な記述がありましたので言わせてください。チャタテムシが収蔵庫に出ている、という報告がありますが、これは重大な問題です。チャタテムシはカビを食べにくる虫なので、チャタテムシが来ているということはカビが発生している可能性があります。万が一カビの発生がチャタテムシの原因となっているとしたら、このままにしていると収蔵庫全体にカビが広がってしまう恐れがあります。</p>
館長	<p>環境調査等の結果を確認して、今後の方針を決めたいと思います。</p>
議長	<p>他には何かある方はいらっしゃいますでしょうか。 無ければ次に進みます。</p>
館長	<p>(2) 平成29年度事業計画について それでは説明させていただきます。 (資料2に基づいて説明、以下主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校社会科研究展に研究発表会を取り入れる。これは毛呂山町で行っているものを手本にする。 ・市民学芸員(古文書整理型)の活動の成果を、改装後の常設展示の一部に組み込む予定。
議長	<p>ついにリニューアルということで、日々の活動もされながら工事は行うとのことですが、今年度の活動について何かご意見や質問がある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>今は資料が何も無いのですが、言える範囲で構いませんのでどのように展示改装を進めていくのか教えていただけないのでしょうか。また、自然分野を入れるということで条例改正なども検討事項に入ってくると思うのですがそのあたりのことはいかがでしょうか。</p>

館長	<p>現在、工期が約1ヵ月遅れている状態です。業者が決っていないので何とも言えませんが、各コーナーの担当がそれぞれ準備を進めています。また、条例改正についても今年度中の改正を目指して進めているところです。</p>
委員	<p>関連して1つ良いですか。条例改正やミッションとも関わってくると思うのですが、博物館だけで完結するのではなく、地域等とも関わって、エコミュージアムのような概念も入れられないでしょうか。また、その内容について意見を言える場などはあるのでしょうか。ミッションは誰が作るのですか。</p>
館長	<p>今館内で調整を進めているところですが、しかるべき時が来たら委員のみなさまにもご意見をいただきたいと考えています。</p>
委員	<p>エコミュージアム構想なども入れていけたらいいと思いますし、意見を交える場をぜひ作っていただきたいです。</p>
議長	<p>条例改正などによってこれから市民学芸員の皆さんの活動の場が広がれば良いと思っていますし、そのことについて委員の皆さまからもご意見をいただければ幸いです。</p>
委員	<p>展示内容がだいぶ変わるということなので、それに合った名前に変えるのが良いとは思いますが、「郷土館」という名前が一般に認知されている、という側面もあります。ただ、「郷土館」が何をしているところなのかわからないという人はたくさんいます。</p> <p>情報発信の方法の検討なども含めて、飯能の魅力を伝えるために頑張ってもらいたいです。</p> <p>リニューアルして一年間は人が来るとは思いますが、その後のこともぜひ考えていただきたいです。</p> <p>市民の中では「まさに博物館の建物があるのが誇らしい」、という声も聴きますし、リニューアルに期待している、という声も聞いています。</p>
議長	<p>他には何かご意見ありますでしょうか。もし良ければ、地元の産業に係る立場や山間地域にお住まい、という立場からのご意見などいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>今、森林や林業を伝えていくという全国的な動きの中で、どのように学校に食い込むか、ということが課題になっています。たとえば、算数の足し算や引き算で例として出す物をおはじきやニンジンから木に変えるなど、直接は関わらない教科の中にも取り入れるようにしています。</p> <p>西川材は生活と歴史との関わりが強いこともありますし、西川林業そのものの学習、ということだけにとどまらずプログラムを組んでいけるのではないかと考</p>

委員	<p>えています。学校の負担にならない範囲で、一緒にプログラムや普及方法を考えていけたらいいなと思っています。</p> <p>吾野の林業地帯に住んでいる子どもたちでさえ、自分の家のまわりの山や林業には気が付きません。学校で林業の授業を受けて、他人から貰った丸太を大事そうに抱えてきたのには驚きました。家の周りには、全く気が付いていなかったのです。</p> <p>山間地域に住んでいる子どもたちが、身の周りの自然や林業に目を向けられる展示を期待しています。</p>
委員	<p>名栗等に住んでいても、山と触れ合う機会は少ないです。小学生もどんどん忙しくなっていますし、飯能の山は遊べる山では無く、いきなり杉の林になっている、ということもあります。そして、今は大人も山のことを知らないの山について教えることができません。しかし、どこかで誰かが引き継いでいかないと、山の文化は絶えてしまいます。その役割の一端を郷土館が担えれば良いと思います。</p>
議長	<p>やはり地元に住んでいても、そう簡単に森林や林業を学べるわけでは無いのですね。</p> <p>他には何か、例えば学校教育との関わりの観点などからご意見などありますでしょうか。</p>
委員	<p>『飯能の教育』は2年スパンで出来ているので、今年来年の分にはリニューアルのことが載りません。しかし、平成31年度～32年度の方で大きくPRできたら良いと思います。</p> <p>また、今後3、4年生の社会科の学習指導要領が大きく変わる可能性があります。要領が変わると学校もそれに伴って動きます。しかし、学校が動いてからこちらも動くのでは遅いです。したがって、ちょうど今が重要なタイミングになります。リニューアルに合わせて、学校とも調整を図って食い込んでいくにはいいタイミングかもしれません。今年の夏ごろから変わっていきますので、学校ともやり取りしながら考えていってほしいです。</p> <p>学習指導要領が変わるといっても、郷土のものをという大枠は変わりません。学校も飯能らしいなにかを求めています。その意味で、どのように飯能らしさを伝えていけるのか、学校に売り込むいいタイミングだと思います。水と緑、という言葉が教育計画に入っていますが、西川材などはまさにぴったりだと思います。</p> <p>それと質問なのですが、社会科研究展の発表会の準備はどのような感じになっているのでしょうか。</p>
主査	<p>四月の時点で社会科主任の先生方に提案したところ、良いのではないかという意見をいただきました。実際の準備については、まだ毛呂山町の方などに教えて</p>

委員	<p>いただきながら調整中です。</p> <p>10月開催ということだと時期的にかなり迫ってきているので、早め早めに進めないと最後にきついことになります。</p>
委員	<p>社会科研究展と発表会について、一つ良いでしょうか。</p> <p>毛呂山でも社会科研究展の発表会を何回もやっていますが、そもそも展示自体のはじまりは、飯能市の社会科研究展を見本にして学校教育課が主体となってやりはじめたものです。作品募集については指導主事から各学校への参加を呼び掛けてもらったので、やりやすかったです。その流れの中でぜひ発表会を、ということを経験から呼びかけてみたら、学校教育課でもぜひ、ということになりました。休日出勤にはなるのですが、学校教育課も前向きに取り組んでくれています。飯能市でも郷土館だけでは難しいので、学校教育課と協力して進めて欲しいと思います。</p> <p>また、来館しての授業が第一小学校だけ、というのが気になります。遠方の学校は来にくい、というのもあるかもしれませんが、ぜひ他の学校も小学3年生社会科見学対応だけではなく来てもらえるようにしてほしいです。例えば、6年生の歴史学習の始まりなどで活用してもらえるようにすればいいのではないのでしょうか。</p> <p>毛呂山でも小学生が来るとバックヤードを見せたりしていますが、子どもたちの反応はとても良いです。史料保存の観点から考えると一概に良いことでは無いかもしれないが、総合の学習が少なくなるのなら、その分他の教科の中で利用してもらえるように学校と連携していければ良いと思います。</p>
委員	<p>条例改正についてですが、作るからにはやっぱり良いものを作って欲しいです。全国へ発信できるような条例づくり、ミッションづくりを目指してほしいと思います。郷土館から全国へPRできるものにしてもらいたいです。</p>
議長	<p>他には何かある方いらっしゃいますか。特に無いようでしたら議事はこれで終わりにしたいと思います。</p>
主査	<p>5 閉会</p> <p>本日もご審議をありがとうございました。では、これにて平成29年第1回飯能市郷土館協議会を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">午後3時30分 閉会</p>

議事の内容、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

議長 の 署名 _____